＊＊2009年 7月 6日改訂 （第3版）
＊2005年12月21日改訂

医療機器承認番号 14700BZZ00224000

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器 注入用カテーテル 33172000

静 脈 カテーテル

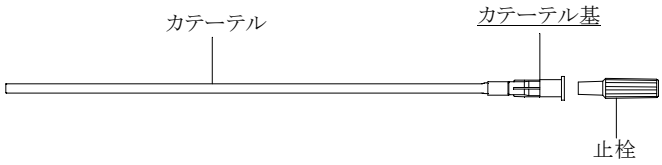
再使用禁止

【警 告】
＜使用方法＞
・血栓や静脈内感染予防のための管理を十分に行なうこと。

【禁忌・禁止】
・再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

＊＊**＜構造図（代表図）＞**



＊＊・カテーテル：ポリエチレン製
カテーテル基：ポリプロピレン製、ステンレス製
・該当するサイズ等については、包装表示で確認すること。

【使用目的、効能又は効果】

＊＊ 本品は、静脈内に溶液を注入するために用いる。

【品目仕様等】

＊＊・接合部強度：29.4N（3kgf）で引張ったとき抜けない。

【操作方法又は使用方法等】

本品は滅菌品であるので、そのまま直ちに使用できる。

手技に精通した医師の管理下で使用すること。

1) 使用する静脈の部位を中心に消毒する。
2) 穴あき布で被覆し、局所麻酔を行なう。
3) 静脈に直角に皮下脂肪組織が十分に露出するところまで、横切開を加える。
4) 血管用小筋鉤等で切開創を広げながら、モスキート鉗子等を用いて脂肪織を排除して静脈を剥離露出する。
5) 静脈の遠位端を結紮し、中枢側に糸を通して支持糸として静脈を吊り上げる。
6) 血管用メス等を使用して静脈の中央部よりやや末梢側を内腔が見えるまで切開する。
7) モスキート鉗子で血管切開口を把持して広げ、中枢側支持糸を操作しながら前もって生理食塩水を満たしておいたカテーテルを挿入する。
8) カテーテルを十分な深さまで挿入したら、中枢側支持糸にて血管と一緒にカテーテルを結紮してから、末梢側血管結紮糸をカテーテルに回して固定する。
9) 皮膚切開創の結節縫合を行なう。
10) 創に抗生物質軟膏等を塗布しガーゼを当ててテープ等で固定する。

＜使用方法に関連する使用上の注意＞

・全ての操作は、無菌的に行なうこと。
・カテーテルと薬液ラインとの接続は確実に行ない、使用中は緩みがないことを定期的に確認すること。
・カテーテルの折れ曲がり等に配慮して固定すること。固定後は感染に十分注意すること。
・併用する医療用具の使用方法等については、その添付文書を確認後、使用すること。
・留置したカテーテル及び薬液ラインの状態に注意すること。異常を認めた場合、直ちに適切な処置を施すこと。
・血栓や静脈内感染予防のための管理（補液、留置期間等）を十分に行なうこと。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

・医薬品の添付文書を確認後、使用すること。
・静脈露出の容易さ、カテーテルの固定と管理の容易さ等を考慮して、施行部位を選択すること。
・留置する静脈に適した長さおよび太さのカテーテルを選択すること。
・次のような症状がみられた場合は、症状に応じて適切な処置を行なうこと。
  ・創部出血または皮下出血
  ・創感染
  ・創部痛
  ・静脈炎
・包装が破損、汚損している場合や、製品に破損等の異常が認められる場合は使用しないこと。
・使用直前に開封して使用すること。

＜その他の注意＞

・使用後は感染防止に配慮して安全な方法で処分すること。
・本品はエチレンオキサイドガス滅菌済み。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

＜貯蔵・保管方法＞

・水ぬれ、直射日光、高温多湿を避け保管すること。

＜有効期間・使用の期限＞

・箱に記載している使用期限を参照のこと。（自己認証による）

【包 装】

50本／1箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

＊＜製造販売業者＞
株式会社八光
長野県千曲市大字磯部1490
TEL 026-275-0121

＜製造業者＞
株式会社八光

販売窓口： 東京都文京区本郷三丁目42-6
TEL 03-5804-8500